

# 技術開発の方向性に即した自動運転の実現に向けた調査研究 海外視察要領（案）

	イギリス	フランス	シンガポール
日程（予定）	平成30年9月～11月目途		
訪問先候補	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリス運輸省</li> <li>・イギリス交通研究所（TRL）</li> </ul> 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランス内務省</li> <li>・Easymile社</li> <li>・NAVYA社</li> </ul> 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンガポール運輸省</li> <li>・科学技術庁（ASTAR）</li> <li>・シンガポール国立大学</li> </ul> 等
視察目的	<p>ロンドン市内のグリニッジでは、自動走行研究プロジェクトの一環として、無人運転バスの運用が行われているほか、政府は、2017年10月、「自動運転と電気自動車に関する法案（Automated and Electric Vehicles Bill）」を下院議会に提出し、2021年までに無人の自動運転車が公道を走行することができるよう全面的な規制改革を行うと発表していることから、技術開発の状況や方向性、実験の実施状況、具体的な規制改革の内容、実用化を目指すシステムの具体的機能、国際条約と国内法及び自動運転機能の整合性に関する考え方、今後の制度整備の方向性や課題等について、行政機関や実験実施主体から聴取する。</p>	<p>パリ市内のラデファンスやランジス市内のビジネス街において、混合交通下における無人自動運転の移動サービスが開始されているほか、政府は、2018年3月、運転者が車内に存在しないSAEレベル4の実証実験のための法律改正を2019年までに実施すると発表していることから、技術開発の状況や方向性、実験の実施状況、具体的な法律改正の内容、実用化を目指すシステムの具体的機能、国際条約と国内法及び自動運転機能の整合性に関する考え方、今後の制度整備の方向性や課題等について、行政機関や実験実施主体から聴取する。</p>	<p>シンガポール運輸省と港湾運営会社PSAインターナショナルは、港湾間のコンテナ輸送におけるトラック隊列走行（後続車無人）の導入に向けた実証実験を本年5月から実施する予定としている。</p> <p>また、自動運転バスの開発では、科学技術庁（ASTAR）、国立大学等が中心にコンソーシアムを立ち上げ、2020年初頭の実用化を目指すと発表しているほか、政府は、2017年8月、人が運転していない車両も「自動車」の定義に含めるなどした法律の改正案を公表し、公道での走行試験を安全に実施するための規則を定めていることから、技術開発の状況や方向性、実験の実施状況、国際条約と国内法及び自動運転機能の整合性に関する考え方、今後の制度整備の方向性や課題等について、行政機関や実験実施主体から聴取する。</p>

※ 政府広報等から把握した情報を基に、原文等を調査したもの。